

平成 22 年 3 月期 第 2 四半期 決算 について

平成 21 年 10 月 30 日
電源開発株式会社

概要

連結決算

(1) 連結経営成績(累計)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益		1株当たり 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
22年3月期 第2四半期	273,115	(24.9)	22,728	(56.9)	19,236	(54.2)	14,011	(58.2)	93	.38
21年3月期 第2四半期	363,680	(-)	52,729	(-)	42,017	(-)	33,547	(-)	201	.42

(注) パーセント表示は、対前年同四半期増減率

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期 第2四半期	2,022,403	404,799	19.9	2,686.00
21年3月期	2,005,469	382,112	19.0	2,533.28

経営成績及び財政状態

1. 経営成績

(1) 電気事業の販売電力量

当社の当四半期の卸電気事業の販売電力量は、水力は前年同期と同規模の湯水（出水率が83%）となる中、前年同期に対し1.6%増加の48億kWhとなりました。火力は磯子新2号機営業運転開始（平成21年7月）があったものの、電力需要の減少等に伴う稼働率の低下により、前年同期に対し26.3%減少の185億kWhとなりました。

以上により、当四半期の卸電気事業の販売電力量は、水力・火力合計で前年同期に対し21.8%減少の233億kWhとなりました。

また、その他の電気事業の販売電力量は、PPS（特定規模電気事業者）向けの稼働率の低下等により、前年同期に対し13.0%減少の6億kWhとなり、電気事業合計では、前年同期に対し、21.6%減少の240億kWhとなりました。

(2) 収益

収益面では、連結売上高（営業収益）は、卸電気事業の水力は、前年同期と同規模の湯水となる中、販売電力量は増加したものの、平成21年9月からの料金改定等により減収となりました。火力は磯子新2号機営業運転開始があったものの、電力需要の減少等に伴う稼働率の低下により販売電力量が減少したこと、及び燃料価格の下落に伴う販売単価減等により減収となり、前年同期に対し24.9%減少の2,731億円となりました。これに営業外収益を加えた四半期経常収益は、前年同期に対し24.0%減少の2,823億円となりました。

(3) 費用

費用面では、火力の稼働率及び燃料価格の低下による燃料費の減少や定期点検等修繕費の減少等により、前年同期に対し 19.5%減少の 2,503 億円となりました。また、営業外費用については、前年同期の有価証券評価損等の反動により、前年同期に対し 30.8%減少の 127 億円となり、四半期経常費用は、前年同期に対し 20.1%減少の 2,631 億円となりました。

(4) 利益

以上の結果、経常利益は前年同期に対し 54.2%減少の 192 億円となり、法人税等を差し引いた四半期純利益は前年同期に対し 58.2%減少の 140 億円となりました。

2. 財政状態

(1) 資産の部

資産については、固定資産は減価償却の進行等による減少があったものの、大間原子力及び磯子新 2 号機の新設工事等への設備投資等により、前期末から 267 億円増加し、1 兆 8,698 億円となりました。これに流動資産を加えた総資産は前期末から 169 億円増加し、2 兆 224 億円となりました。

(2) 負債の部

負債については、前期末から 57 億円減少し、当四半期末の負債総額は、1 兆 6,176 億円となりました。このうち、有利子負債額は前期末から 26 億円増加し、1 兆 4,733 億円となりました。

(3) 純資産の部

純資産合計は、四半期純利益の計上等により、前期末から 226 億円増加の 4,047 億円となり、自己資本比率は前期末の 19.0%から 19.9%となりました。

3. 配当

当中間配当額は、1 株につき 35 円とさせていただきます。

連結収支比較表

平成21年 4月 1日から
平成21年 9月30日まで

(単位:百万円)

	当第2四半期 (A)	前第2四半期 (B)	対前年同期比	
			増減(A-B)	(A/B)%
営業収益	273,115	363,680	90,564	75.1%
電気事業営業収益	251,198	335,101	83,902	75.0%
他社販売電力料	223,467	306,752	83,285	72.8%
卸電気事業	216,348	297,151	80,802	72.8%
水力	58,339	58,722	382	99.3%
火力	158,008	238,428	80,420	66.3%
その他の電気事業	7,119	9,601	2,482	74.1%
託送収益	27,146	27,702	555	98.0%
その他	585	645	60	90.6%
その他事業営業収益	21,917	28,579	6,662	76.7%
営業費用	250,387	310,950	60,563	80.5%
電気事業営業費用	226,141	280,170	54,028	80.7%
人件費	18,065	17,897	167	100.9%
燃料費	81,660	128,119	46,459	63.7%
修繕費	23,025	26,849	3,823	85.8%
委託費	13,666	14,061	395	97.2%
租税公課	13,111	14,668	1,556	89.4%
減価償却費	57,829	52,194	5,635	110.8%
その他	18,781	26,378	7,597	71.2%
その他事業営業費用	24,245	30,780	6,534	78.8%
営業利益	22,728	52,729	30,001	43.1%
営業外収益	9,252	7,705	1,546	120.1%
受取配当金	776	943	166	82.4%
受取利息	295	586	290	50.4%
持分法による投資利益	6,179	4,332	1,846	142.6%
その他	2,000	1,843	156	108.5%
営業外費用	12,744	18,418	5,673	69.2%
支払利息	11,457	11,373	83	100.7%
その他	1,287	7,044	5,757	18.3%
四半期経常収益合計	282,368	371,386	89,018	76.0%
四半期経常費用合計	263,131	329,369	66,237	79.9%
経常利益	19,236	42,017	22,780	45.8%
湯水準備引当金取崩し(貸方)	387	300	87	-
特別利益	-	12,170	12,170	-
税金等調整前四半期純利益	19,624	54,488	34,864	36.0%
法人税、住民税及び事業税	4,389	21,898	17,508	20.0%
法人税等調整額	1,453	1,089	2,543	-
少数株主利益又は少数株主損失()	231	132	364	-
四半期純利益	14,011	33,547	19,535	41.8%

(注)百万円未満を切捨てて表示しております。

・通期の連結業績予想

平成 22 年 3 月期の販売電力量については、前回予想値(平成 21 年 9 月 30 日公表)において、水力の湯水状況、火力は電力需要の減少等を反映して当初計画を見直しましたが、今回上期の湯水実績などを反映し、526 億 kWh に見直しを変更しております。(前年度実績に対し 8.4% 減)

売上高については、水力の湯水及び火力の販売単価の低下を見込み、前回予想値より減少した 5,670 億円と見込んでおります。

営業利益については、電力需要の減少及び設備トラブルによる稼働低下の影響、修繕費の増加などにより、前回予想値を下回る 460 億円と見込んでおります。

以上により、経常利益は前回予想値を下回る 350 億円、法人税等を差し引いた当期純利益は、同様に 240 億円となる見込みです。

【連結】

	平成 22 年 3 月期 今回修正予想	平成 22 年 3 月期 前回予想	平成 21 年 3 月期 実績
売上高	5,670 億円	5,780 億円	7,049 億円
営業利益	460 億円	570 億円	571 億円
経常利益	350 億円	430 億円	395 億円
当期純利益	240 億円	290 億円	194 億円

[主要諸元]

	平成 22 年 3 月期 今回修正予想	平成 22 年 3 月期 前回予想	平成 21 年 3 月期 実績
販売電力量(水力) (億 kWh)	88	92	83
販売電力量(火力) (億 kWh)	437	442	491
水力出水率 (%)	88	93	88
火力設備利用率 (%)	64	64	76

(参考)

【個別】

	平成 22 年 3 月期 今回修正予想	平成 22 年 3 月期 前回予想	平成 21 年 3 月期 実績
売上高	5,170 億円	5,260 億円	6,458 億円
営業利益	400 億円	510 億円	447 億円
経常利益	230 億円	320 億円	223 億円
当期純利益	150 億円	210 億円	100 億円